

学校を開く

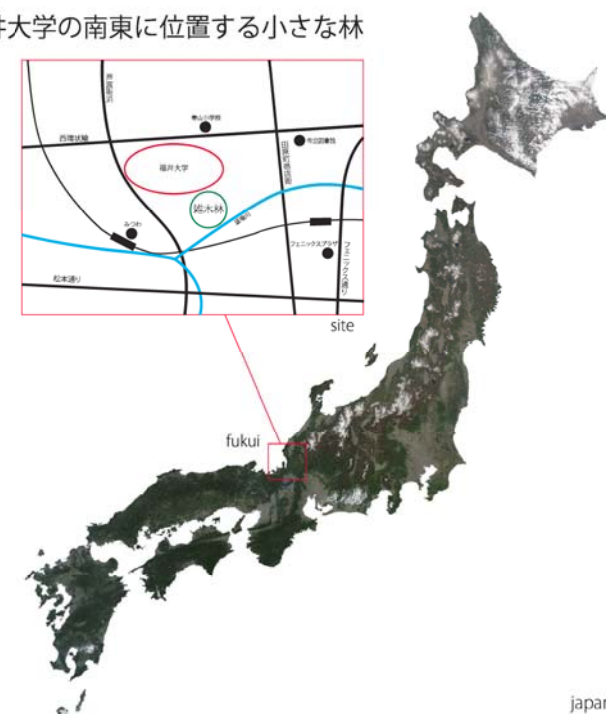
福井大学の南東には、市街地としては珍しい貴重な自然が残っている雑木林があります。

その雑木林は地域の人々にとって公園のような存在となっています。

たとえば、犬の散歩をしたり、子どもたちは鬼ごっこや秘密基地をつくったりして遊んでいます。

そんな雑木林がなくなってしまうかもしれないということです。

場所は、福井大学の南東に位置する小さな林



雑木林がなくなってしまうかもしれない背景にはいったい何が
あるのでしょうか。

雑木林は、以前は個人宅が建っていましたが、それが空き家になり
空き家を取り壊され、現在は庭にあった木々だけが残されています。
そして雑木林の土地の所有は、大学と県に分割されました。
すると、大学の土地側で駐車場をつくるという話しが出てきました。
また、底喰川の河川改修計画も出てきました。
ここで雑木林が壊滅してしまう恐れが浮上してきました。

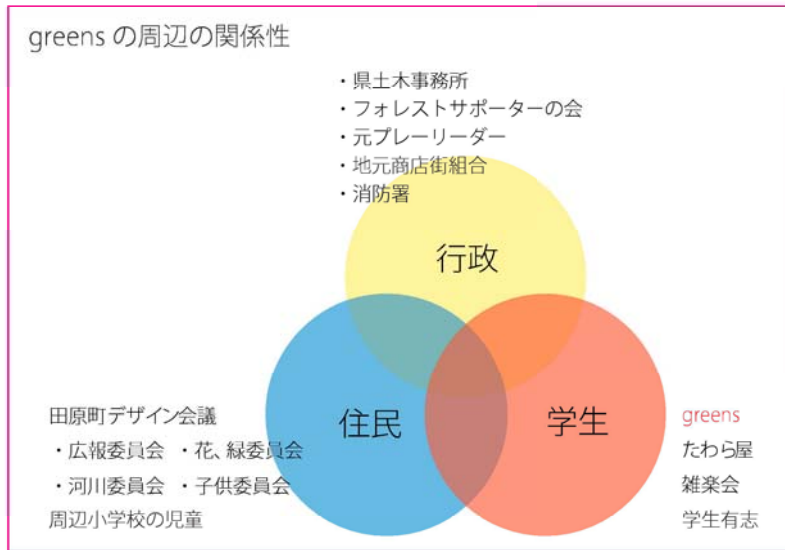
地域の庭のような存在の雑木林を壊してしまうのは非常に悲しい
ことです。なんとか阻止できないでしょうか。



そこで、僕たちは「greens」という団体を立ち上げました。
greens とは、「雑木林をもっといい空間にしたい」という熱い
気持ちをもった未熟者たちの集まりです。



greens メンバー



そして、greens は2つのプロジェクトを実施しました。



greens イメージキャラクター「ぐりぞー」

greens project

- Project 1. 雑木林改造計画 ～雑木林をみんなのいえにしよう～
- Project 2. ぼうけんあそびば



Project1 チラシ

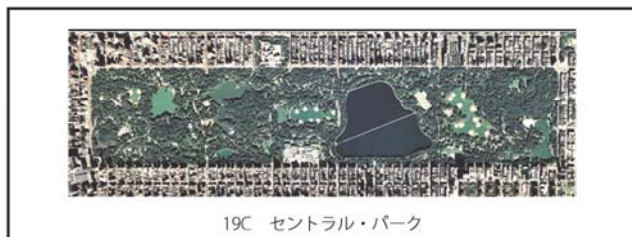
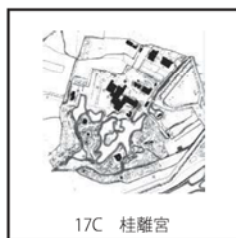
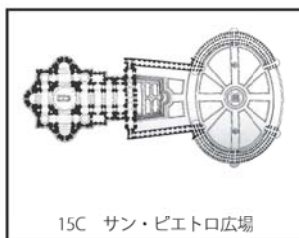
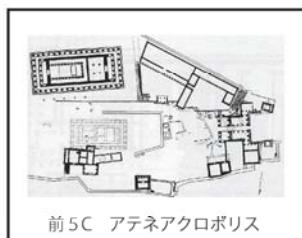


Project2 チラシ

いったいこれらのプロジェクトで雑木林がどのようになっていったのでしょうか。

雑木林は計画的につくられたモノではなく自然発生的に
生まれたモノです。

公園や庭は「計画」の歴史でした。
計画されすぎた公園はなにか息苦しさを感ずります。



僕たちは、雑木林を自ら遊びを発見していくような偶発的な公園
にすることを目指しました。

Project 1. 雑木林改造計画 ～雑木林をみんなのいえにしよう～

地域とのつながりが深い雑木林のよりよい活用法を提案して、オープンキャンパスのときに実現しました。そして、より多くの人に雑木林の良さを知ってもらうきっかけを生み出しました。

concept

雑木林をみんなのいえのようにする。



雑木林に" ツリーハウス" や" 竹座敷" をつくって、自分の家のように遊んだり、食べたり、くつろいだりして雑木林を家のように身近に感じてもらう。

build a tree house



材料（間伐材）調達



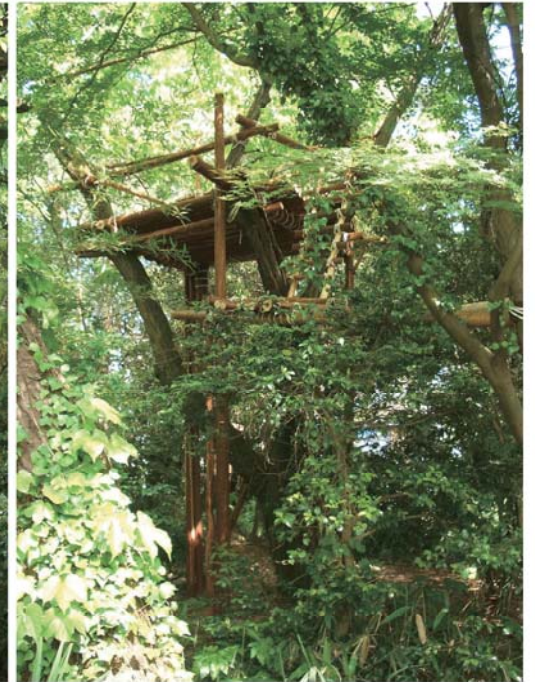
測量



フォレスサポーターの会の講習



制作



ツリーハウス完成

Project 2. ぼうけんあそびば

こどもの自由に遊べる“遊び場”をつくりました。

- ①自然の中で自由に遊ぶ場を提供し、福井での子供の遊び環境に一石を投じる。
- ②田原町のまちづくり活動として、雑木林の活用策を考える機会とする。

concept

雑木林にある自然を活用して、こどもが自由に遊ぶ。

準備



プレーパーク視察

応急処置講座

プレーリーダー講座



会議



看板準備

冒険遊び場・「自分の責任で自由に遊ぶ」ことを大切に、できるだけ禁止事項を設けずに、遊び場にある道具や自然の素材を使ってこどもがのびのびと自分のしたいことを実現していく遊び場のこと。

天気・雨のち晴れ

来場者数・114人（大人37人 子ども77人）けが人・0人



ソリーハウス開放

シャボン玉

あまやどり

焼き火

木にペイント

そして、年月が過ぎ、雑木林の横に位置している工学部 物理工学科棟が取り壊しになるという計画が耳に入ってきました。

しかし、取り壊した後はどうなるのかという具体的な計画はまだ何も決まっていないようで、学生の提案次第で何か新しい計画にできるかもしれないということでした。

これはチャンスだと思いました。

大学側が、何も決まっていないうちにこちらから何か提案してしまおうと考えました。



そこで、新しくメンバーを集めて、雑木林と工学部棟を連続させてここを地域と大学の接点として、ここから町に開かれた大学にしていこうと考えました。



なんだか大学は城壁に囲まれたよう



そこで、まず学生がキャンパスに何を望んでいるのかを具体的に知るためにワークショップを開きました。

どのようなワークショップなのでしょう。

🕒 スケジュール

①まず、現地についてメンバーが知る勉強会。



③良さそうなワークショップを議論しながら2つ選出。
具体的な内容を詰めていった。



⑤WSのまとめ
WSで得られたことを話し合い。



②みんなでいろいろなワークショップの事例を調べて検討。



④WSを開催(2008/6/28)
学生を集めてWS。



現地体験 WS

目的：実際に雑木林や物理工学科棟の状況を見学して、知ってもらう。

内容：そこで感じたことをポストイットに書いて、大きな地図に貼ってもらう。

実際に作成した地図



一目で理解しやすいようポストイットを色分け

青…ハード面の意見
(～がほしい)

黄緑…ソフト面の意見
(～がしたい)



みんなで歩きながら意見交換

思いついたことをどんどん書き込む

地図に貼り付け、みんなの意見はそれぞれ

物理工学科棟付近

コラージュ WS

目的：現地体験で感じたこと、大学生活で感じていることを、写真の切り貼りや絵で表現してもらおう。

内容：紙にいろいろな雑誌を切り抜いて貼ったり、絵を描いたりして、キャンパスのイメージや物理工学科棟、雑木林のイメージを作ってもらおう。

実際作成したコラージュ



そして、WS から得られたことを、まとめて全体イメージを考えました。

現地体験 WS で分かったこと

ポストイットに書かれた内容を系統別に分類

改善	保存	導入	希望
<ul style="list-style-type: none"> ・ポール・ブロック塀の撤去 ・ツタ・棕櫚が多い ・折れた枝・クモの巣が多い ・ゴミ・廃材が落ちている ・蚊・カラスが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの秘密基地 ・桜・アジサイ ・森林らしい道 ・雑木林の中を隠す木 	<ul style="list-style-type: none"> ・看板 雑木林・草木についての説明 ・設備 机・椅子・水場・照明・トイレ・ゴミ箱 ・自然 カマキリ・カナヘビ・ヘビ・鳥・花 ・廃材利用 記念碑・モニュメント ・その他 芝生広場・親水空間・ツリーハウス 透水舗装・テイクアウトカフェ 美しい建築・雑木林につながる橋 	<ul style="list-style-type: none"> ・木登り ・青空ゼミ ・BBQ ・お花見 ・読書 ・芝生で寝転ぶ ・飲食

まとめる

- ・2号館跡地について、何か新しいものをつくりたい・何かしたいという意見が多い
- ・自然を残したいという意見が多い
- ・町との境界に関する意見が少ない
- ・意見は特に集中せず、広く分布
- ・看板等、雑木林を主張させる意見が多い

コラージュ WS で分かったこと

コラージュから、重複していた意見や、意見交換の際に好評だった意見を挙げる。

2号館跡地と雑木林にほしいもの

- ・足をつけられるような水場
- ・花火ができる場所
- ・晴れた日に外で食べてしゃべれる、疲れを癒せるカフェ
- ・芝生（森）に囲まれた大学
- ・知的な場所
- ・レセプションにつかえるサイエンスカフェ
- ・森の中で食事ができるカフェ
- ・涼い感じの机
- ・キャンドル、ろうソクのようなやさしい光
- ・やわらかい間接的な照明
- ・暗めの林道
- ・三味線とかギターを演奏する場所
- ・きれいな桜の中に小動物
- ・語り合う空間
- ・2号館跡地を遺跡に
- ・歩けたり、休めたりする場所
- ・夜でも明かりを
- ・「和」の雰囲気
- ・木陰でデートできる場所
- ・壮大な滝
- ・おしゃれな照明器具
- ・ボーっとしてられる場所
- ・青空
- ・犬の散歩と普通の散歩
- ・雨でも歩けるように、石畳
- ・きれいな沼
- ・寝転ぶような場所
- ・森とマッチするような建物
- ・噴水
- ・地域と触れ合う場所
- ・笑顔があふれてくる場所
- ・雨よけ
- ・全体的に緑



この中でも、カフェ、灯り、イス、イベント会場を中心に2号館跡地の計画案をつくります。

物理工学科棟跡地は、みんなでワイワイやったり、地元の人がかつろぐようなオープンな場所に。雑木林は、時を忘れボーっとしたり、静かに考え事をしたりする少しクローズな場所になるように計画しました。

大体のイメージはつかめましたが、もう少しワークショップを重ねてみんなで活用を考えていきたいと思っています。



全体イメージ